やけど

電話で相談
こども夜間安心コール
＃8000
19:00～翌8:00

どのようなやけどですか？

痛みがひどく、水ぶくれができている広範囲のやけど

はい → **救急車を呼びましょう 119**

いいえ → **やけどをしたときは、流水や氷で急いで冷やしましょう！**

- □水ぶくれができている。
- □やけどの面積がお子さんの手のひらの大きさか、それ以上である。
- □やけどの場所が関節部分や手のひら。
- □やけどの部分が白あるいは黒くなっている。

当てはまる状態を「はい」とした場合

「はい」が1つ以上 → 休日夜間急患センター等を受診しましょう。

「はい」がない → やけどの面積がお子さんの手のひらより狭く（指先など）、赤くなってはいるが、水ぶくれはない。

様子をみながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

やけどの重傷度の判断は、極めて難しいので、判断がつかない場合は、医療機関を受診しましょう。

やけど

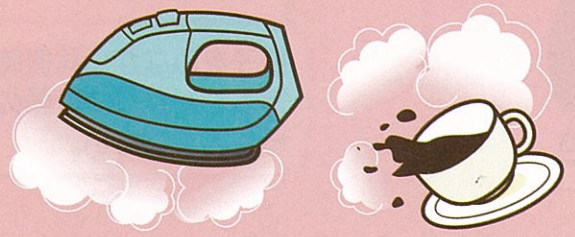
ご家庭で

- **やけどをしたときは、急いで冷やしましょう。**
  冷やすことで、皮膚深部への熱の伝達を防ぎます。冷やすと痛みもやわらぎやすくなります。最低20～30分間以上を目安に冷やしましょう。
  - ☞流水（水道水）や氷などを利用して冷やしましょう。
  - ☞市販されている冷えるシートは、やけどの冷却用には使えませんので注意してください。
  - ☞熱いお風呂に落ちたなど、服を着たままのやけどの場合には、服の上から冷やします。最低20～30分間以上、痛みが消失するのを目途に冷やしましょう。
- **やけどをした部分に触らないようにしましょう。**
- **アロエを塗るなどの民間療法は極力しないようにしましょう。**

お医者さんに伝えましょう

やけどの原因は何ですか？

□ 熱湯　□ 油　□ ストーブなどの火
□ 炊飯器・ポット・加湿器などの水蒸気
□ その他（　　）



熱いお茶やカップラーメンなどをテーブルに置いているときに、お子さんから目を離さない、ポットやアイロンなどをお子さんの手の届くところに置かないなど、普段から注意してあげることが大切です。